

「北極圏旅行記 2017-2018 冬 (1)」

～ヘルシンキへ～

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

夏の北欧旅行に引き続き、この冬もまた北欧旅行に発ちました。個人的には夏の北欧のほうがずっと好きなのですが、今回は冬の北極圏。オーロラ観測がメインです。

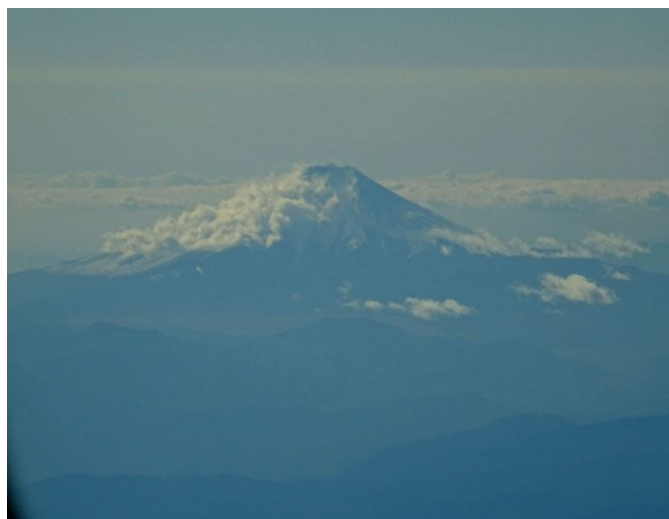


「この冬は過去にないほどの海外旅行者数」と報道されていたので、チェックインは長蛇の列を予想していたのですが、意外にも成田空港は閑散としていました。今回はヘルシンキからの乗り換え便がないので、荷物も23kgのを1人2個まで預けられます。スーツケースは観測機材と、友人へのおみやげ、それに食料。ボストンバッグ(のような形のコールマンのテント袋)のほうは防寒具で一杯になっている。

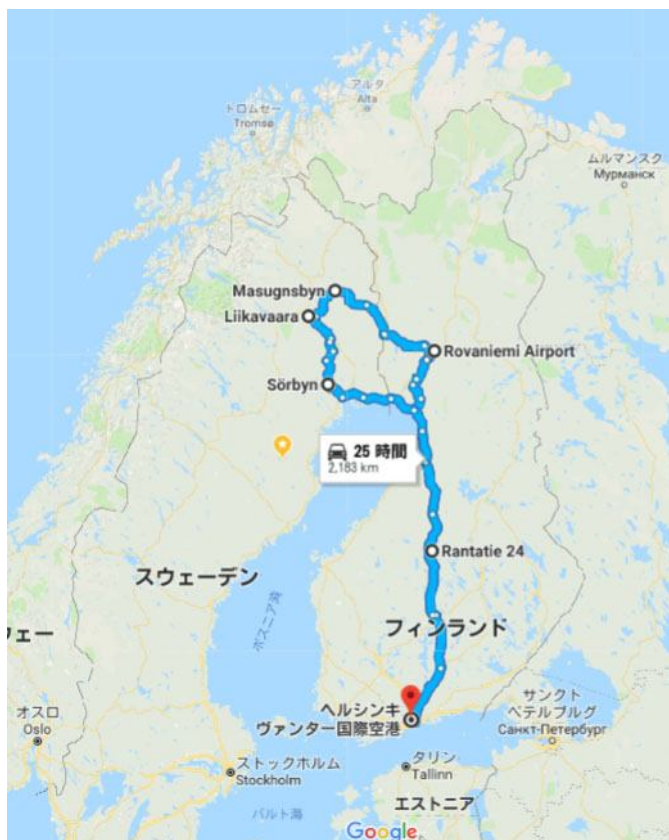


快晴の成田空港。今回は、自分の車に荷物を積んで、出発ロビーまで横付けした。あらかじめ予約しておい

た成田の駐車場業者さんが、そこまで車をとりこぎてくれるのだ。荷物が重い旅行なので、非常に助かった。



離陸直後に少し揺れたが、すぐに安定。左機窓に富士さんもよく見えた。手前にうっすらと「御坂山塊」(みさかさんかい)も見えている。機内はWiFiも使用可能なので、こうして配信も可能である。



今までは、ヘルシンキやストックホルムで乗り換えて、北極圏の空港でレンタカーを借りるというのが、決まったスタイルだった。しかし今回は、ヘルシンキ空港でレンタカーを借りて、直接北極圏まで走行することにした。ちょっと無謀だが、今の時期、フィンランドの国内線は予約が難しいのだ。ヘルシンキに着いたらさっそく運転なので、少し寝ておこう。